

令和 4 年度 相談支援実施状況（令和 4 年 4 月 ～ 令和 5 年 3 月分）

事業所名： 地域生活支援センター 元町の家

## I 相談利用者の状況

相談形態	電話	来所	訪問	その他	月別延べ件数計 (件) 5265件		
	3956	675	533	101			
相談者	本人	家族・親戚	その他機関等		月別延べ件数計 (件) 5265件		
	4692	453	120				
地域	茅ヶ崎	寒川	その他		実人数 (人) 522人		
	417	4	101				
障害種別	身体	知的	精神	発達	高次能	その他	実人数 (人) 522人
	6	35	362	59	1	59	

## II 対応事業別の実績

事業項目		年間相談計(件)
(1)市町村相談支援機能強化事業		4275
(2)障害者相談支援事業		990
(内 訳) ※重複あり	(ア)福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等)	598
	(イ)社会資源を活用するための支援	276
	(ウ)社会生活力を高めるための支援	33
	(エ)ピアカウンセリング	0
	(オ)権利の擁護のために必要な援助	16
	(カ)専門機関の紹介	33
	(キ)自立支援協議会の部会の運営業務	0
	(ク)上記以外の相談	540

## III 相談の傾向や課題、その他の取り組み状況など

## &lt;相談支援事業&gt;

## ○相談の傾向・内容について

- ・発達障害との診断を受け、当事業所を紹介されて来所されるケースが散見された。関りのあった機関が、困りごとの主訴や課題の整理をしないまま、当事業所へつなげるケース。
- ・引きこもりの末に措置入院となり、退院に向け地域での生活のため、当事業所につながってほしいとの内容で保健所や医療機関から打診がくる。初診がなく、未受診未治療のケース。
- ・自立のため、「働く場所」や「住む場所」に関する相談内容が多かった。

## ○相談支援事業からみられる課題

- ・委託相談と計画相談が混在しており、従来果たすべき委託相談の機能が、地域の中で徐々に薄れてきていると感じている。
- ・当事業所の課題として、当事者のご希望に沿った支援ができない状況がある。茅ヶ崎市としての相談支援体制をどのように構築していくのが、地域課題であると思う。したがって行政機関も含め、今後の相談支援体制(計画相談含む)についての協議が必要である。
- ・ケースの複雑化や多問題化がすすんでおり、障がい分野のみでの対応に限界を感じる。
- ・障害福祉サービスなどの社会資源との調整業務におわれ、利用者の主訴を確認するまたは課題と一緒に整理するといった相談支援をする時間がない。サービス利用のみで相談支援が途切れてしまう。